

<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: 2em; font-weight: bold;"> <span>キ</span> <span>ジ</span> </div> <div style="text-align: center; font-weight: bold; margin-top: 5px;"> <u>Phasianus colchicus</u> </div>														
種名														
分類	キジ目キジ科													
特徴	オスは赤い顔と緑の胸が目立ち、長めの尾をした日本の国鳥。ユーラシア大陸の温帯に広く分布する。日本では本州から九州までの各地に留鳥として棲息し、繁殖している。地方によってやや羽色が違い、4亜種に分けられている。また、北海道、対馬などでは朝鮮半島産の亜種コウライキジが放鳥され、野生化している。狩猟鳥であり、また人工増殖が可能なので、多数の放鳥が行われている。													
生活	ヤマドリよりも開けた環境に棲息し、平地から山地の明るい林、林縁、草原、農耕地などに見られる。主に地上に歩いて餌をとり、草の葉や実、昆虫やクモなどを食べる。夜のねぐらは樹上にとる。繁殖期には、オスの縄張りに複数のメスが棲みつくことが多く、交尾し産卵する。産卵期は4～7月、抱卵日数は23～25日位である。													
声	繁殖期のオスは「ケン、ケン」ち鋭く鳴き立て、翼を激しく震わせて「ドドド」という羽音を立てる。飛び立つ時には「チョケンチョケン」と鳴くことが多く、夕方、ねぐらでこれに似た声で長く鳴いていることもある。メスは「チョッチョッチョツ」と低い声で鳴く。													
見分け方	メスはヤマドリのメスにやや似るが、全身、特に尾には赤茶色はない。													
時期	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20px;">(月)</td> <td style="width: 20px;">1</td> <td style="width: 20px;">2</td> <td style="width: 20px;">3</td> <td style="width: 20px;">4</td> <td style="width: 20px;">5</td> <td style="width: 20px;">6</td> <td style="width: 20px;">7</td> <td style="width: 20px;">8</td> <td style="width: 20px;">9</td> <td style="width: 20px;">10</td> <td style="width: 20px;">11</td> <td style="width: 20px;">12</td> </tr> </table>	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
その他	全長(L) 81cm 58cm 翼開長(W)77cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														